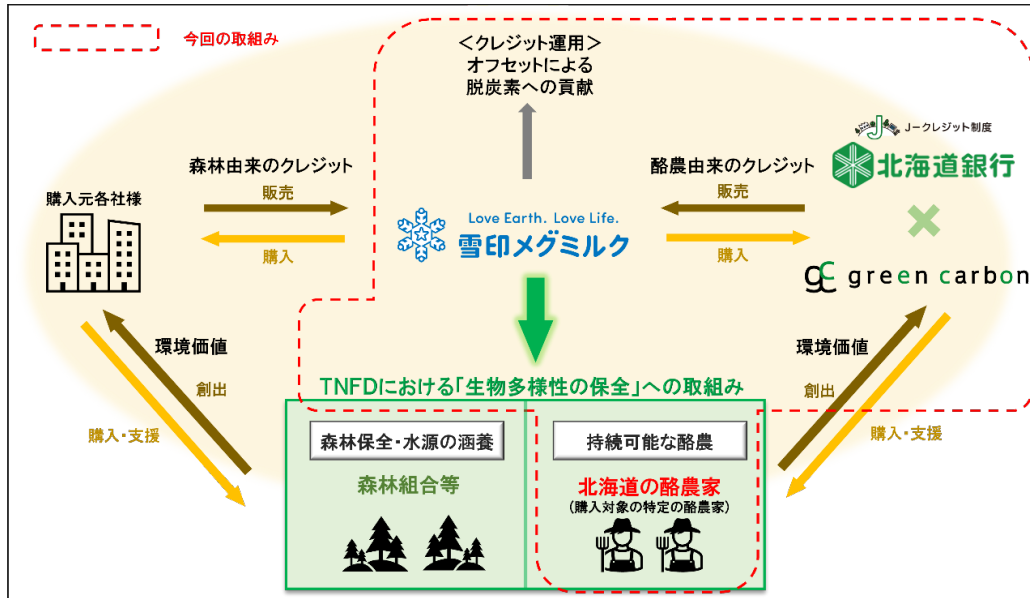


2025年4月23日

雪印メグミルク 持続可能な酪農生産への貢献 酪農由来のJ-クレジット活用を開始

雪印メグミルク株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：佐藤 雅俊）は、持続可能な酪農生産へ貢献するため、株式会社北海道銀行（本店：北海道札幌市、頭取：兼間 祐二）およびGreen Carbon株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：大北 潤）と連携し、酪農由来のJ-クレジット※の活用を開始いたしました。



酪農分野ではメタン等の温室効果ガス（以下、GHG）の削減が課題となっています。家畜の排せつ物を堆肥化する過程ではGHGが発生しますが、強制発酵設備を導入することで従来は4～6か月を要していた堆肥化の処理時間が24時間に短縮され、GHGを削減できます。このたび当社は、J-クレジットの方法論（家畜排せつ物管理方法の変更（AG-002））を用いて認証されたクレジットを活用します。

今回の取組みは、当社がクレジットを購入することで、強制発酵設備の導入にかかる北海道の酪農家の負担を支援し、GHG削減を実現するものです。

この取組みは、当社グループの重要課題（マテリアリティ）である「持続可能な酪農への貢献」や「環境負荷の低減」に寄与します。クレジットの購入量は、2025年～2032年の8年間合計で11,500t-CO₂の予定です。

当社では、TNFDにおける「生物多様性の保全」への取組みとして、2025年秋の本格開示に向けて、森林保全・水源の涵養（かんよう）、持続可能な酪農を重点施策として進めてまいります。

※J-クレジット制度：省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

【参考情報】

TNFD : The Taskforce on Nature-related Financial Disclosures

(自然関連財務情報開示タスクフォース)

TNFD 初期的開示の内容 : https://www.meg-snow.com/csr/pdf/tnfd_240822.pdf



購入対象の酪農家の牛舎



強制発酵設備

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

雪印メグミルク株式会社
広報 I R部 広報グループ

TEL 03-3226-2124 FAX 03-3226-2150

E-mail msb-pr@meg-snow.com